
3 EU 貿易の地盤低下を招く英 EU 離脱 ～EU貿易におけるドイツ一極化の始まり～

大木 博巳 *Hiromi Oki*

(一財) 国際貿易投資研究所 研究主幹

要約

世界貿易におけるEUの影響力は、輸入面で低下している。2010年以降のEU経済危機によって、2010-2017年間の世界輸入拡大に対するEU域外輸入の寄与率は僅か2.8%にとどまった。

英国の対EU貿易依存度（対GDP比、2017年）は、輸出で8.3%とEU平均の22.0%を大きく下回っている。

英国のEU離脱が貿易に与える影響として予想される点は、第1に、EU貿易規模が縮小し、世界貿易に対する影響力が低下する。

第2は、EU離脱が英国の貿易に与える影響は、輸出額の35%程度、輸入額の40.4%程度に大きな打撃となる。輸出では、食料品などの消費財や化学品などの加工品で、輸出価格の上昇等によりEU市場を失う可能性がある。一方、輸入では、乗用車と食料品の輸入をEUに大きく依存している。EU品を継続して輸入しても、価格の上昇など消費者には不利益をもたらす。

第3はEU加盟国の貿易にも影響が及ぶ。ほとんどのEU加盟国は対英貿易で貿易収支黒字を計上している。英EU離脱によって、EU加盟国の貿易黒字幅が縮小する。これが、EUの貿易収支不均衡を拡大させることになる。

第4に、EU貿易におけるドイツのシェアが一層高まり、ドイツ1極化がさらに進行する。

英国のEU離脱は、英国のマイナス面が強調されるが、EUにとっても貿易面では、特に対英輸出で打撃を受けることになろう。

1. 世界最大の貿易地域としてのEU

1.1. 世界貿易で低下するEUの影響力

EUは、世界最大の貿易地域である。世界貿易拡大に対するEUの寄与率は、輸出面で見ると、1990年代、2000年代において、いずれも30%を維持しており、輸出面での世界貿易の影響力は変わらず大きい。しかし、EU域内輸出・域外輸出別にみると、域内輸出の貢献度が低下する一方で域外輸出が上昇している（表1）。

他方、輸入では、1990年代、2000～2010年間で30%を維持していたのが、2010～2017年間には19.8%に低下している。これは、EU域外輸入の寄与率が2000～2010年間の12.6%から2010～2017年間では2.8%に激減したことが大きく影響している。EU域内輸入の寄与率は、2010～2017年間で微減にとどまっている（表2）。

EUの貿易は、輸出・輸入の両面で安定的に世界貿易を牽引してきた。しかし、南欧諸国の財政危機やユーロ危機等一連の欧州経済危機で、世界に市場を提供する輸入面で、吸収力が低下した。EU経済がいかに低迷していたかを反映したものである。逆に、EUはEU域外市場への輸出依存度を強め

表1 世界貿易拡大に対するEU増加寄与率（輸出）

（単位：％）

国名	相手国	1990-2000			2000-2010			2010-2017		
		EU域内	EU域外	世界計	EU域内	EU域外	世界計	EU域内	EU域外	世界計
EU		21.1	9.4	30.5	19.7	11.7	31.4	16.6	13.9	30.4
	英国	1.9	1.3	3.3	0.5	1.0	1.5	-0.1	1.3	1.2
	ドイツ	3.0	1.6	4.6	4.6	3.5	8.1	3.7	4.3	8.0
	フランス	2.4	1.4	3.8	1.2	1.0	2.3	-0.2	0.7	0.5
	北欧*	2.4	1.7	4.0	1.1	1.0	2.1	0.2	0.6	0.8
	南欧	2.9	1.7	4.6	2.6	1.9	4.5	2.9	3.1	6.0
	中・東欧	3.4	0.2	3.7	4.6	1.4	6.0	7.3	1.8	9.1
	ベネルクス	4.6	1.3	5.9	4.8	1.8	6.6	2.3	1.8	4.1
	バルト	0.2	0.1	0.3	0.2	0.2	0.4	0.4	0.3	0.7
EU域外		10.4	59.1	69.5	12.4	56.2	68.6	4.2	65.3	69.6
	米国	2.1	10.3	12.4	0.8	5.0	5.8	1.8	9.5	11.3
	中国	1.1	5.0	6.1	3.1	12.1	15.2	2.6	27.0	29.6
	日本	0.7	5.6	6.2	0.1	3.3	3.3	-0.4	-2.6	-3.0
	世界計	31.5	68.5	100.0	32.1	67.9	100.0	20.8	79.2	100.0

資料：IMF; Direction of Trade Statistics (DOT)

表2 世界貿易拡大に対するEU増加寄与率（輸入）

（単位：％）

相手国 国名	1990-2000			2000-2010			2010-2017		
	EU域内	EU域外	世界計	EU域内	EU域外	世界計	EU域内	EU域外	世界計
EU	18.6	11.7	30.3	19.4	12.6	32.0	17.0	2.8	19.8
英国	1.4	2.6	4.0	1.3	1.5	2.8	2.0	0.3	2.3
ドイツ	3.3	1.6	4.8	4.0	2.3	6.4	4.3	0.4	4.7
フランス	2.5	0.8	3.4	2.2	0.9	3.1	0.7	-0.2	0.5
北欧*	1.5	0.9	2.4	1.3	0.5	1.8	1.6	0.1	1.7
南欧	3.3	1.7	5.0	3.0	2.7	5.7	0.5	-1.4	-0.9
中・東欧	3.6	0.9	4.5	4.2	1.7	5.9	6.6	1.1	7.7
ベネルクス	2.4	2.9	5.3	3.2	2.8	5.9	0.6	2.5	3.1
バルト	0.3	0.1	0.4	0.3	0.1	0.4	0.7	0.0	0.8
EU域外	8.9	60.9	69.7	10.8	57.2	68.0	13.6	66.6	80.2
米国	4.1	19.2	23.3	1.1	7.2	8.3	4.5	11.1	15.5
中国	0.7	4.9	5.5	1.6	11.7	13.3	3.2	15.0	18.2
日本	0.3	4.4	4.7	0.2	3.4	3.6	0.5	-1.4	-0.9
世界計	27.5	72.5	100.0	30.2	69.8	100.0	30.6	69.4	100.0

資料：IMF; Direction of Trade Statistics (DOT)

て、EU域内貿易の不振を補っている。

EU域内貿易の低迷は、輸出面では英国とフランスのEUの大国で著しいが、中東欧の輸出は拡大している。

英国のEU離脱は、世界貿易におけるEUの影響力低下を招く。特に、EUの輸入面での英国の寄与率が高い。2010～2017年間の世界輸入拡大に対する英国の寄与率は、2.1%、英国がEUを離脱すると、EUの寄与率は、19.8%から17.8%へと低下する。

1.2. EUの輸出主導型経済成長

EUの経済成長は貿易に依存している。EUのGDPに占める貿易の割合（貿易依存度）は、2017年に輸出で34.5%、輸入が33.9%である（表3）。米国や日本の貿易依存度を大きく上回っている。特に、中東欧やベネルクスの小国では、EUの中でも貿易依存度が高く、5割を超えている。経済規模が中から小程度の国の集まりであるEUにとって、経済成長の牽引役である貿易の役割は大きい。EUが地域経済統合を追求する理由の一つがそこにある。

EUで貿易主導型の経済成長を享受している国はドイツである。ドイツの

貿易依存度（対GDP比）は、輸出で39.7%と4割近くに達している（表3）。輸入依存度は、32.0%である。一方、EUの大国である英国の輸出依存度は、17.3%とギリシャ（16.0%）並みの低い水準である。輸入依存度は25.1%とドイツと比べて10%ポイント低い。フランスは輸出依存度が20.8%、輸入依存度が24.2%と英国よりは高い。

英国の対EU貿易依存度は低い。英国の対EU域内輸出依存度で8.3%、対EU域外輸出依存度の9.1%を下回っている。EU加盟国で対EU域内輸出依存度が対EU域外輸出依存度を下回っている国は、キプロスのみである。

ドイツの対EU貿易依存度は、輸出で23.2%、輸入で21.1%とドイツの貿易依存度の3分の2はEU貿易で占めている。ドイツは、巨大なEU市場に支えられて安定した輸出先を確保している。しかも、ユーロ導入により為替リスクは軽減されている。他方、英国の対EU貿易依存度が低いことは、貿易を通じたEU経済への統合がドイツと比べて進んでいないことを示すものであろう。

表3 EU加盟国の貿易依存度（対各国のGDP比）2017年

（単位：%）

相手国 国名	輸出			輸入		
	EU域内	EU域外	合計	EU域内	EU域外	合計
EU	22.0	12.5	34.5	21.6	12.3	33.9
英国	8.3	9.1	17.3	12.9	12.2	25.1
EU（英国を除く）	24.5	13.1	37.5	23.1	12.3	35.4
ドイツ	23.2	16.5	39.7	21.1	10.8	32.0
フランス	12.2	8.6	20.8	16.9	7.3	24.2
北欧*	18.2	13.7	31.9	19.5	8.5	28.0
南欧	15.1	10.1	25.2	15.7	10.2	25.9
イタリア	14.6	11.7	26.4	14.1	9.4	23.5
中・東欧	42.6	11.7	54.3	41.0	13.7	54.7
ベネルクス	58.8	20.8	79.6	39.6	33.2	72.7
バルト	36.1	20.8	56.9	48.3	16.1	64.4

資料：IMF; Direction of Trade Statistics（DOT）

表4はEU（28）のGDPを100としたときのEU加盟国の貿易比率である。ドイツの輸出規模は対EU（28）GDP比で8.5% 英国は2.6%、フランスは3.1%と2017年では、英国とフランスの輸出額を合計してもドイツに及ばない。特にEU域内輸出では、ドイツの比率が輸出で4.9%、輸入で4.5%と英仏の合計

を大きく上回っている。英国がEUから離脱すれば、EU域内貿易におけるドイツの影響力が一段と高まるものと見込まれる。

表4 EU28のGDPに占めるEU加盟国の貿易比率(2017年)

(単位: %)

相手国 国名	輸出			輸入		
	EU域内	EU域外	合計	EU域内	EU域外	合計
EU	22.0	12.5	34.5	21.6	12.3	33.9
EU (英国を除く)	20.8	11.1	31.9	19.7	10.5	30.1
英国	1.2	1.4	2.6	1.9	1.8	3.8
ドイツ	4.9	3.5	8.5	4.5	2.3	6.8
フランス	1.8	1.3	3.1	2.5	1.1	3.6
北欧*	1.5	1.2	2.7	1.6	0.7	2.4
南欧	3.2	2.2	5.4	3.4	2.2	5.6
中・東欧	4.3	1.2	5.4	4.1	1.4	5.5
ベネルクス	4.7	1.7	6.4	3.2	2.7	5.9
バルト	0.2	0.1	0.3	0.3	0.1	0.4

資料: IMF; Direction of Trade Statistics (DOT)

EU貿易におけるドイツの影響力が高まる一方で、貿易収支は、ドイツの黒字に対して英仏はともに赤字を計上している。ドイツの貿易収支は、対GDP比でEU域内が2.1%、EU域外が5.6%とEU域外貿易で稼いでいる(表5)。他方、英国は同じく、△4.7%と△3.1%、フランスも同4.7%、1.3%とEU域内貿易では大幅赤字を計上している。

表5 EU加盟国の貿易収支の対GDP比(対各国のGDP比)

(単位: %)

相手国 国名	EU域内	EU域内			EU域外	米国	合計
		英国	ドイツ	フランス			
EU	0.4	0.8	-0.3	0.8	0.2	0.8	0.6
EU (英国を除く)	1.3	1.0	-0.1	0.9	0.8	0.9	2.1
英国	-4.7	-	-1.6	-0.1	-3.1	-0.1	-7.8
ドイツ	2.1	1.3	-	1.1	5.6	2.1	7.7
フランス	-4.7	0.1	-1.4	-	1.3	0.2	-3.5
北欧*	-1.3	0.0	-1.1	-0.3	5.2	2.5	3.9
南欧	-0.6	0.6	-0.9	0.5	-0.1	0.9	-0.7
中・東欧	1.6	1.2	-0.6	0.8	-2.0	0.7	-0.4
ベネルクス	19.3	3.2	6.0	4.6	-12.4	-1.8	6.8
バルト	-12.3	0.1	-3.4	-0.7	4.8	1.5	-7.5

資料: IMF; Direction of Trade Statistics (DOT)

2. 拡大する英仏と独の貿易格差

ドイツの輸出金額は、2000年で5,500億ドルに対して、英国が2,840億ドル、フランスが326億ドルとドイツと英仏の輸出格差は2倍内であったが、2017年ではドイツが1兆4,490億ドル、英国が4,440億ドル、フランスが5,350億ドル。3倍程度に拡大している（表6a）。

貿易伸び率は、独と英仏とでは成長率の格差がある。2000-2010年間の平均成長率は、輸出で、英国の3.9%、ドイツの8.6%、フランスの4.8%と英国はドイツの半分程度の伸び率にとどまった（表6b）。食料品、化学品、機械産業の成長率は、英独仏ともに平均を上回る高い伸びを見せている。中でもドイツが、10%を超える伸び率で成長している。しかし、2010～2017年間では、英独仏ともに一転して、大幅に鈍化し、特に独の輸出が大きく落ち込んでいる。また、フランスの成長率は英国を下回り、停滞した。

EU域内・域外別の貿易比率は、2017年で英国がEU域内輸出47.6%、域内輸入51.5%、ドイツが同じく57.9%、65.1%、フランスが58.3%、69.6%である（表6c）。英国はドイツ、フランスと比べてEU域外貿易志向が強い。独仏は逆に、EU域内貿易志向が強い。ただし、独仏は、域外輸出志向を強めている。

表6 英国・ドイツ・フランスの貿易額・伸び率・域内域外比率

a) 貿易額

(単位：10億ドル)

	国名	2000			2010			2017		
		域内	域外	合計	域内	域外	合計	域内	域外	合計
輸出	英国	166	118	284	212	204	416	212	233	444
	ドイツ	351	199	550	754	505	1,259	838	610	1,449
	フランス	211	115	326	317	207	524	312	223	535
輸入	英国	172	175	347	283	307	590	332	313	645
	ドイツ	310	185	495	657	398	1,055	760	407	1,167
	フランス	227	111	338	418	194	611	434	190	624

b) 伸び率

(単位：%)

	国名	2000-2010			2010-2017		
		域内	域外	合計	域内	域外	合計
輸出	英国	2.4	5.6	3.9	-0.0	1.9	1.0
	ドイツ	7.9	9.8	8.6	1.5	2.7	2.0
	フランス	4.1	6.0	4.8	-0.2	1.1	0.3
輸入	英国	5.1	5.8	5.4	2.3	0.3	1.3
	ドイツ	7.8	8.0	7.9	2.1	0.3	1.5
	フランス	6.3	5.7	6.1	0.6	-0.3	0.3

c) EU域内・域外比率

(単位：%)

	国名	2000		2010		2017	
		域内	域外	域内	域外	域内	域外
輸出	英国	58.5	41.5	50.9	49.1	47.6	52.4
	ドイツ	63.8	36.2	59.9	40.1	57.9	42.1
	フランス	64.7	35.3	60.5	39.5	58.3	41.7
輸入	英国	49.6	50.4	48.0	52.0	51.5	48.5
	ドイツ	62.6	37.4	62.3	37.7	65.1	34.9
	フランス	67.2	32.8	68.3	31.7	69.6	30.4

図1は、英独仏の1970年から2018年間における貿易をEU域内・域外別に見たものである。独と英仏の貿易金額の格差が広がり始めたのは1990年代以降であるが、2000年以降に顕著な動きとなっている。

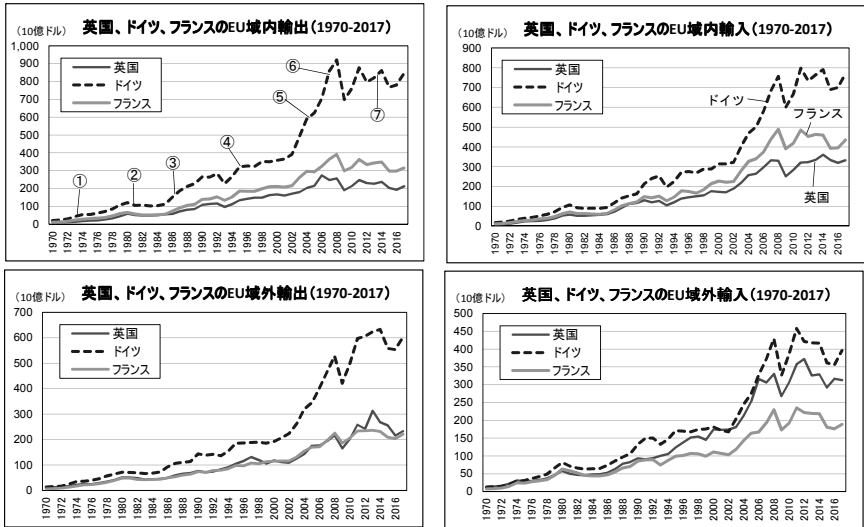
輸出では、1990年代から格差が広がり始め、2000年代に入って格差が急激に拡大している（図1）。さらに、リーマンショック後には英独仏ともに、EU域内輸出は横ばいで推移するが、ドイツのEU域外輸出は拡大を続けた。英仏の輸出は、域内・域外ともには同じような規模で同じような動きをしている。

輸入は、EU域内とEU域外で異なる動きを見せている。EU域内輸入では、EU域内輸出と同様に、2000年代に入りドイツと英仏の格差が拡大し、リーマンショック後では、英独仏ともに横ばいで推移している。域外輸入では、2000年代に入り、ドイツと英国は域外輸入を拡大させている。

2002年以降におけるドイツのEU域内貿易の拡大は、①ユーロ導入、②中東欧の加盟の影響が指摘できる。英仏は、中東欧のEU加盟による貿易拡大

効果は、輸出よりは輸入で大きかったように見える。2012年以降のEU域内貿易の停滞は、英独仏共に共通している。

図1 英国・ドイツ・フランスの貿易（域内・域外別）の推移（1970～2017）



注：①1973年：英国、アイルランド、デンマーク加盟

②1981年：ギリシャ加盟

③1986年：スペイン、ポルトガル加盟

④1995年：オーストリア、スウェーデン、フィンランド加盟

⑤2004年：キプロス、チェコ、エストニア、ハンガリー、ラトビア、リトアニア、マルタ、ポーランド、スロバキア、スロベニア加盟

⑥2007年：ブルガリア、ルーマニア加盟

⑦2013年：クロアチア加盟

資料：IMF; Direction of Trade Statistics (DOT)

3. 英独仏の産業内分業の進展

3.1. 英独仏の貿易構造の類似性

独と英仏の貿易規模（金額）は、格差が広がっているが、英独仏の貿易構造は同質的である。2017年の業種別貿易構成比は、英独仏ともに機械類

(HS84～91)の比率が最も高い(表7a)。英国は、輸出全体の43.2%、輸入は同じく40.1%である。ドイツも同じく55.0%、41.8%、フランスは42.5%、40.4%となっている。ドイツの機械類の輸出比率が5割を超えて突出している。

次に化学品が来ているのも、英独仏ともに共通している。英独仏の中では、フランスの輸出比率が21.2%と高い。輸入は、独仏ともに16%台である。3番手は、食料品と鉱物性燃料(原油)が並んでいる。輸出では、独仏が、食料品が3番手であるが、英国は鉱物性燃料となっている。輸入では、英国が食料品であるが、独仏は鉱物性燃料である。

EU域内貿易では、英独仏にとって、機械類、化学品、食料品が3大貿易品目である。英独仏が同じような貿易構造となっているのは、産业内貿易と呼ばれる同一製品の双方向貿易の発展にある。EU市場の統合を通じて、産業にとって規模の経済を活用することができるようになったこと、市場の近接性や文化的親近性、嗜好の類似性などが、同一産业内での双方向貿易を促進した。EUでは、同一産业内ですみ分けが可能となり、産业内分業が世界のどこの地域より発達していることにある。産业内分業の発展により、英独仏の業種別貿易が類似性を高めた。

貿易の成長率は、機械、化学品、食料品がいずれも、英独仏において、平均成長率を上回り、貿易拡大のけん引力となっている(表7b)。しかし、ドイツと英仏の貿易成長率を比較すると、パフォーマンスに大きな違いがある。特に、2000～2010年間における貿易成長率は、輸出でドイツは8.6%、英国が3.9%、フランスが4.8%とドイツが伸長した。機械類では、ドイツと英仏の成長率格差が大きい。ただし、2010年～2017年間では、ドイツと英仏の機械類貿易の成長率格差は解消されている。

貿易収支は、ドイツの黒字に対して英仏が赤字となっている(表7c)。特に、EU域内貿易では、英国とフランスが1,200億ドル台の赤字を計上する一方でドイツは779億ドルの黒字となっている。英国のEU域内貿易の赤字は、機械が605億ドル、食料品が259億ドル、化学品が194億ドルに達し、EU加盟国の中で最大の赤字国である。

表7 英独仏の業種別貿易（金額と構成比）

a) 金額と構成比（2017年）

業種	金額（10億ドル）						構成比（%）					
	英国		ドイツ		フランス		英国		ドイツ		フランス	
	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入
鉱物性燃料等	36	52	30	96	16	60	8.0	8.0	2.1	8.2	3.0	9.6
貴石・貴金属等	32	50	13	19	8	8	7.3	7.7	0.9	1.6	1.5	1.2
紙・紙製品等	3	7	20	14	6	8	0.7	1.1	1.4	1.2	1.2	1.4
食料品	29	61	81	93	66	59	6.6	9.4	5.6	8.0	12.3	9.4
化学品	79	89	272	195	113	101	17.9	13.8	18.8	16.7	21.2	16.2
鉄鋼	12	16	57	52	23	24	2.8	2.4	4.0	4.5	4.2	3.8
卑金属	10	15	51	47	14	19	2.2	2.4	3.5	4.0	2.6	3.0
機械類	192	259	797	488	228	252	43.2	40.1	55.0	41.8	42.5	40.4
繊維	3	5	14	10	4	5	0.8	0.8	0.9	0.9	0.8	0.8
縫製品	9	25	23	41	12	26	2.1	3.8	1.6	3.5	2.2	4.1
雑製品	17	32	37	47	14	30	3.9	4.9	2.6	4.0	2.6	4.8
その他*	20	35	54	66	32	33	4.6	5.4	3.7	5.6	5.9	5.3
総計	444	645	1,449	1,167	535	624	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

注：その他には、油脂（HS12-15）、土石類・鉱石等（HS25-26）、革製品・木材等（HS41-48、49）、石・セメント・陶磁製品・ガラス等（HS68-70）、特殊取扱（HS99）が含まれる。

b) 平均伸び率

業種	2000-2010 平均伸び率（%）						2010-2017 平均伸び率（%）					
	英国		ドイツ		フランス		英国		ドイツ		フランス	
	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入
鉱物性燃料等	8.1	15.9	13.2	11.1	9.5	10.8	-5.5	-2.8	1.4	-3.7	-3.4	-4.6
貴石・貴金属等	10.4	12.8	15.7	14.2	10.3	5.6	1.8	0.3	-2.1	1.1	8.8	8.0
紙・紙製品等	1.5	3.3	6.5	5.0	3.1	3.9	-3.3	-4.0	-2.6	-1.0	-3.1	-2.5
食料品	5.3	7.4	10.9	8.3	6.7	7.6	2.2	1.8	2.5	2.4	0.7	2.1
化学品	7.0	7.6	10.6	10.9	7.8	8.4	-1.2	1.2	2.1	2.3	-0.1	-0.2
鉄鋼	7.5	8.0	10.1	10.3	7.0	7.2	-2.0	0.5	-0.3	1.2	-2.0	-0.9
卑金属	4.9	6.0	9.0	9.7	6.5	6.7	-1.6	-0.1	1.3	1.2	-0.1	-0.1
機械類	1.0	3.0	8.0	7.2	2.8	3.8	2.7	2.2	2.5	2.2	0.4	1.3
繊維	-1.6	-1.7	2.1	2.2	-2.1	-1.1	-2.1	0.0	-0.9	-1.0	-2.6	-1.8
縫製品	4.0	5.2	9.4	5.4	6.2	6.9	6.0	1.8	2.9	2.3	2.2	1.6
雑製品	2.5	5.8	9.7	7.1	4.3	8.0	7.6	3.5	2.9	4.0	3.4	2.7
その他*	0.8	-0.9	5.2	1.6	5.4	6.3	5.8	3.0	0.7	1.4	2.1	0.6
総計	3.9	5.4	8.6	7.9	4.8	6.1	1.0	1.3	2.0	1.5	0.3	0.3

注：その他には、油脂（HS12-15）、土石類・鉱石等（HS25-26）、革製品・木材等（HS41-48、49）、石・セメント・陶磁製品・ガラス等（HS68-70）、特殊取扱（HS99）が含まれる。

c) 収支（2017年）

（単位：100万ドル）

業種	英国		ドイツ		フランス	
	域内	域外	域内	域外	域内	域外
鉱物性燃料等	10,923	-27,216	-16,293	-16,379	-49,749	-66,127
貴石・貴金属等	-1,416	-15,807	-17,223	-244	-5,410	-5,654
紙・紙製品等	-3,141	-1,101	-4,241	2,524	3,155	5,678
食料品	-25,909	-5,659	-31,568	-12,131	-433	-12,564
化学品	-19,462	9,826	-9,636	16,261	60,852	77,113
鉄鋼	-3,196	-6	-3,202	-2,599	7,818	5,219
卑金属	-2,987	-2,515	-5,503	106	3,832	3,938
機械類	-60,521	-5,791	-66,312	98,920	209,907	308,827
繊維	-727	-1,171	-1,898	2,095	1,217	3,312
縫製品	-732	-14,705	-15,436	-1,069	-16,463	-17,532
雑製品	-5,645	-8,579	-14,224	-3,144	-6,261	-9,406
その他*	-7,554	-7,170	-14,724	-6,409	-4,984	-11,394
総計	-120,366	-79,893	-200,259	77,930	203,480	281,411
						-122,486
						33,521
						-88,965

注：その他には、油脂（HS12-15）、土石類・鉱石等（HS25-26）、革製品・木材等（HS41-48、49）、石・セメント・陶磁製品・ガラス等（HS68-70）、特殊取扱（HS99）が含まれる。

3.2. 食料品貿易

英独仏の食料品貿易は、輸出額、輸入額ともにドイツが最大で、ドイツがEU最大の食料品貿易国である。次いで輸出ではフランス、輸入では英国となっている（表8）。

財別にみると、穀物などの素材、素材を加工した中間財製品（加工品）より、消費者が直接購入する消費財の金額が大きい。2017年で英国の食料品の輸出の79.3%、ドイツは75.7%、フランスは69.8%が消費財で占められている。

表9は、EU域内食品貿易を財別にHS2桁の業種分類で詳細を見たものである。ドイツのEU域内食料品貿易は、輸出で見て酪農品、肉類、穀物・ミルクの調整品、各種の調製食料品、飲料・アルコールが上位品目である。フランスは飲料・アルコール、酪農品、穀物・ミルクの調整品、肉類、英国は飲料・アルコールが突出、次に各種の調製食料品、魚介類、酪農品などとなっている。食料品も、同一カテゴリーの品目は相互に取引されており、EUの産業内分業が進んでいる分野である。

また、英独仏の食料品貿易はEU域内依存が高い。特に、EU輸入依存度は英国が71.6%、ドイツが80.8%、フランスが79.8%と高い。他方、EU域内輸出依存度は、英国が60.2%、ドイツが78.4%、フランスが62.8%と英仏のEU域内輸出依存度が低い。英仏は、飲料・アルコールが、世界市場向け輸出品であることによる。

表 8 英国・ドイツ・フランスの食料品貿易（2017年）

財別、域内・域内別

(単位：100万ドル)

財	英国				ドイツ				フランス			
	域内		域外		域内		域外		域内		域外	
	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入
素材	724	1,526	265	1,695	4,784	7,270	2,475	5,075	6,129	2,173	2,351	1,188
加工品	2,013	2,882	1,337	1,448	7,201	6,633	2,256	1,390	4,247	4,053	2,172	1,649
資本財	341	451	70	59	145	38	188	7	190	96	97	10
消費財	13,980	35,465	9,929	13,815	47,805	54,315	12,226	11,333	28,746	39,090	18,971	8,968
総額	17,626	43,535	11,646	17,305	63,153	75,284	17,419	17,852	41,168	46,795	24,406	11,815

資料：各国貿易統計

表9 英国・ドイツ・フランスの EU 域内食料品貿易（構成比、EU 域内依存度）2017 年

財 HS	2桁品目名	構成比 (%)						域内依存度 (%)					
		英国		ドイツ		フランス		英国		ドイツ		フランス	
		輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入
素材		4.1	3.5	7.6	9.7	14.9	4.6	73.2	47.4	65.9	58.9	72.3	64.7
01 動物		0.8	0.3	1.6	2.5	4.5	0.3	46.4	87.7	84.0	98.6	91.8	82.6
05 動物性生産品		0.5	0.2	1.0	0.6	0.3	0.7	80.3	47.2	66.3	46.1	54.5	74.9
06 植物		0.2	1.0	1.2	2.1	0.3	1.7	81.5	96.9	85.4	95.0	75.8	98.5
09 コーヒー、茶、香辛料		0.2	0.1	1.2	0.2	0.0	0.2	71.5	5.9	66.6	3.9	80.3	14.7
10 穀物		2.1	1.4	1.8	2.7	9.0	1.1	94.9	48.2	50.3	94.6	67.3	81.0
18 ココア		0.0	0.2	0.1	0.9	0.0	0.3	77.0	38.3	98.9	56.3	89.4	33.5
23 食品くず、調製飼料		0.2	0.3	0.2	0.2	0.5	0.3	97.6	39.3	73.2	70.2	85.8	83.7
24 たばこ		0.0	0.0	0.3	0.5	0.1	0.0	99.3	10.9	45.9	33.9	24.3	16.7
加工品		11.4	6.6	11.4	8.8	10.3	8.7	60.1	66.6	76.1	82.7	66.2	71.1
02 肉類		2.3	0.4	1.0	1.4	1.0	1.2	97.8	97.6	90.1	99.9	91.5	98.7
04 酪農品、鳥卵等		0.8	0.7	1.6	0.7	1.2	0.7	58.0	98.9	66.6	97.5	44.1	96.8
11 加工穀物		0.9	0.8	1.3	0.6	1.3	1.0	44.7	89.3	55.8	94.5	57.7	96.1
17 糖類		0.5	0.7	0.7	0.7	0.5	0.7	84.4	50.2	75.4	86.2	83.4	88.1
18 ココア		1.0	0.8	1.7	1.8	2.2	1.7	94.0	64.1	84.2	79.1	81.7	58.4
19 穀物、ミルクの調製品		0.4	0.3	1.0	0.2	0.6	0.3	42.1	91.7	76.5	83.8	53.3	93.3
21 各種の調製食料品		0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.2	55.2	75.8	62.8	65.4	72.8	88.7
22 飲料、アルコール、食酢		2.1	1.0	0.5	1.0	1.3	0.3	97.0	96.8	94.8	99.5	89.6	78.7
23 食品くず、調製飼料		3.0	1.7	3.3	2.2	2.1	2.4	41.3	45.9	83.5	66.2	61.0	54.5
消費財		79.3	81.5	75.7	72.0	69.8	83.5	58.5	72.0	79.6	82.7	60.2	81.3
02 肉類		6.8	9.7	9.9	6.6	5.1	8.8	73.8	85.6	77.6	86.7	69.4	97.3
03 魚介類		8.7	1.9	2.3	3.8	2.6	7.8	69.6	30.6	82.8	66.3	76.9	67.5
04 酪農品、鳥卵等		8.2	7.6	11.8	10.1	10.4	8.5	75.9	96.4	85.7	94.1	72.2	97.3
06 植物		0.2	1.4	0.1	1.5	0.0	0.8	82.8	79.2	86.5	94.6	73.5	97.5
07 野菜類		1.7	6.5	1.5	7.7	4.6	5.2	73.1	74.0	87.9	92.8	85.9	70.8
08 果実類		1.6	5.6	3.0	10.1	3.6	8.7	92.3	39.7	93.6	72.4	76.6	70.9
09 コーヒー、茶、香辛料		1.9	1.4	2.8	1.1	2.8	2.3	63.6	52.1	83.4	53.8	89.8	38.7
10 穀物		0.3	0.3	0.1	0.3	0.1	0.5	82.6	51.6	96.8	70.0	94.7	63.1
11 加工穀物		0.3	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	39.3	83.4	82.0	87.3	94.5	90.5
16 肉、魚介類の調製品		2.1	6.3	4.6	2.9	2.2	3.3	82.8	61.9	95.3	77.4	83.6	72.9
17 糖類		1.5	1.7	2.2	1.3	2.8	1.3	73.1	83.4	73.8	86.5	77.6	87.9
18 ココア		3.0	3.9	5.2	1.9	2.1	3.3	68.9	96.1	77.2	78.5	77.1	94.9
19 穀物、ミルクの調製品		7.3	7.7	7.6	5.2	6.8	7.2	66.8	90.3	79.0	93.0	64.7	93.3
20 野菜・果実等の調製品		3.0	6.6	4.2	5.5	3.3	8.0	74.6	83.6	87.3	79.4	72.0	87.4
21 各種の調製食料品		10.4	6.6	6.8	3.5	4.2	4.6	70.9	81.8	71.7	80.1	60.8	87.1
22 飲料、アルコール、食酢		20.2	11.6	6.6	7.5	16.5	7.5	37.5	71.7	68.9	86.1	38.6	86.7
23 食品くず、調製飼料		2.1	1.6	2.2	1.4	2.6	1.4	87.5	85.1	88.5	86.5	73.7	96.3
24 たばこ		0.2	1.1	4.4	1.6	0.1	3.9	86.9	98.1	70.5	91.9	36.8	99.5
総額		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	60.2	71.6	78.4	80.8	62.8	79.8

資料：各国貿易統計

3.4. 化学品

欧州には英独仏を中心にして国際的に有力な化学品メーカーがひしめいている。EU域内において、製品や原料の融通をパイプライン網を通じて行う等グロスボーダーでバリューチェーンを構築している。また、いち早く海外進出（生産）を図り、グローバル化が進んでいる。英独仏の化学品貿易は、輸出ともに金額では、財別では加工品が消費財を上回っている（表10）。加工品は、汎用品（汎用石化、基礎原料、肥料など）と機能品（プラスチック、染料など）に分類されるが、それぞれ得意分野に特化して競争力を維持してい

る。消費財は医薬品の占める割合が、英独仏ともに共通して高い（表11）。

表10 英国・ドイツ・フランスの化学品貿易（2017年）

財別、域内・域外別

（単位：100万ドル）

財	英国				ドイツ				フランス			
	域内		域外		域内		域外		域内		域外	
	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入
素材	80	102	214	75	400	365	266	486	271	165	89	312
加工品	24,408	39,636	21,310	13,708	103,793	91,281	65,589	40,646	34,575	54,378	19,005	15,245
部品	692	1,741	375	1,151	4,811	5,567	2,341	1,948	2,071	3,274	857	681
消費財	16,967	18,488	12,521	9,754	37,562	33,953	41,112	9,247	24,368	20,510	23,226	5,109
総額	44,647	64,109	34,816	24,989	158,340	142,080	113,470	52,619	67,351	79,927	45,851	21,464

資料：各国貿易統計

表11 英国・ドイツ・フランスのEU域内化学品貿易（構成比、EU域内依存度）2017年

財 HS	2桁品目名	構成比 (%)						域内依存度 (%)					
		英国		ドイツ		フランス		英国		ドイツ		フランス	
		輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入
加工品		54.7	61.8	65.6	64.2	51.3	68.0	53.4	74.3	61.3	69.2	64.5	78.1
28	無機化学品	1.7	2.3	2.7	3.2	2.4	3.6	41.2	56.4	50.9	68.5	68.1	60.4
29	有機化学品	10.8	9.1	8.4	14.5	6.0	14.8	51.1	63.5	54.3	62.9	62.0	74.6
30	医療用品	10.8	20.6	10.8	11.2	4.5	7.5	40.0	87.3	59.0	63.8	44.1	72.1
31	肥料	0.3	1.0	0.4	0.7	0.3	1.5	59.6	69.9	75.4	87.3	76.3	64.3
32	染料	5.2	3.2	5.1	3.0	2.9	3.9	67.9	80.0	63.7	66.9	70.1	83.6
33	精油、調製香料等	1.3	1.5	0.8	0.9	2.1	1.7	53.5	77.3	58.1	73.1	54.7	52.9
34	せっけん、洗剤等	1.0	0.9	1.8	1.0	1.5	1.4	50.0	81.1	52.8	79.7	62.8	92.6
35	たんばく系物質等	0.5	0.9	1.2	1.0	1.6	1.0	53.1	81.1	58.0	69.3	60.8	88.9
36	火薬類、火工品	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.2	78.2	13.8	49.5	27.5	41.2	75.6
37	写真用又は映画用の材料	0.5	0.4	0.6	0.5	0.4	0.5	77.0	40.8	65.5	74.5	87.7	71.5
38	各種の化学工業生産品	6.0	4.3	7.5	5.5	7.4	7.2	54.0	72.3	58.2	62.8	59.0	81.6
39	プラスチック	14.9	15.9	22.8	19.3	19.0	22.2	68.0	72.6	69.7	80.2	75.8	88.2
40	ゴム	1.5	1.8	3.3	3.5	3.1	2.6	56.1	61.4	58.1	72.7	71.0	81.9
消費財		38.0	28.8	23.7	23.9	36.2	25.7	57.5	65.5	47.7	78.6	51.2	80.1
30	医療用品	24.6	18.9	13.8	15.0	17.7	15.4	53.5	68.8	40.6	81.2	48.9	83.3
32	染料	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	41.5	22.3	65.1	69.4	35.4	52.2
33	精油、調製香料等	7.1	5.2	3.2	3.4	10.3	3.0	68.4	65.5	61.1	79.8	45.9	73.9
34	せっけん、洗剤等	2.0	1.8	1.3	1.4	1.7	1.6	69.8	73.4	73.3	86.8	77.9	90.8
35	たんばく系物質等	0.1	0.1	0.2	0.1	0.0	0.1	64.3	63.1	49.3	62.2	65.6	89.2
36	火薬類、火工品	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	17.0	61.5	86.2	50.2	51.9	59.0
37	写真用又は映画用の材料	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	44.1	90.0	75.1	57.5	99.1	99.8
38	各種の化学工業生産品	1.6	1.2	1.4	1.0	3.3	2.0	57.1	84.3	55.0	89.7	63.3	83.2
39	プラスチック	2.3	1.6	3.7	2.8	2.9	3.4	67.5	38.0	65.9	63.4	69.7	69.4
40	ゴム	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2	0.2	73.0	22.6	68.6	43.3	75.3	52.0
総額		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	56.2	72.0	58.3	73.0	59.5	78.8

資料：各国貿易統計

3.5. 機械類貿易

英独仏の機械機器（HS84～92）貿易額は、ドイツが輸出輸入ともに英仏を圧倒している。輸出は、2017年でドイツが7,967億ドル、英国が1,921億ドル、フランスが2,275億ドルである。輸出を財別で見ると、部品、資本財、消費財のいずれもドイツの輸出が英独の合計額を上回っている。

しかし輸入は、英国が2,585億ドル、ドイツが4,879億ドル、フランスが2,522億ドルと、英仏合計がドイツを上回っている。

機械産業の貿易を財別に見えると、部品、資本財、資本財の金額が大きい。部品は、輸入ともにドイツの貿易金額が大きい。また、業種では、一般機械、電機、車両（主に自動車）が上位3業種であるが、なかでも一般機械部品の貿易額が英独仏ともに共通している。

表 12 英国・ドイツ・フランスの機械機器貿易（2017年）

（単位：10億ドル）

	英国		ドイツ		フランス	
	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入
素材	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
加工品	2.7	5.8	17.3	14.4	4.5	7.3
85 電気機器	1.8	3.7	11.2	9.1	2.9	4.1
90 光学機器	0.9	2.1	6.0	5.1	1.4	3.0
91 時計	0.0	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2
部品	82.3	92.4	272.4	202.6	86.7	104.3
84 一般機械	44.2	44.8	106.8	72.3	36.1	44.8
85 電気機器	12.1	22.6	79.8	71.0	24.4	22.9
86 鉄道	0.2	0.6	1.9	1.6	0.5	0.5
87 車両	7.0	17.4	66.7	46.6	16.2	16.9
88 航空機	16.4	5.0	10.8	7.7	7.3	17.2
90 光学機器	2.3	2.0	6.4	3.4	2.2	1.8
91 時計	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
資本財	57.1	95.3	302.7	169.0	101.9	86.2
84 一般機械	23.4	33.1	135.6	71.2	23.9	35.0
85 電気機器	13.2	30.4	48.6	51.1	12.0	22.7
86 鉄道	0.2	1.6	3.2	1.3	0.3	0.3
87 車両	3.7	9.3	28.5	10.2	11.6	11.2
88 航空機	4.3	9.6	30.6	9.2	43.9	6.9
89 船舶	0.3	1.4	4.6	2.6	0.9	0.4
90 光学機器	12.0	9.7	51.6	23.4	9.3	9.6
91 時計	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1
消費財	50.6	63.3	194.1	89.7	33.8	55.7
84 一般機械	0.6	2.7	4.0	4.0	0.6	3.2
85 電気機器	3.2	10.1	13.9	16.6	3.8	8.2
87 車両	42.4	44.8	165.3	60.4	23.0	36.7
88 航空機	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
89 船舶	0.9	0.7	2.2	0.3	1.1	0.5
90 光学機器	2.5	3.1	6.8	6.4	2.9	4.3
91 時計	1.0	1.8	1.7	2.0	2.5	2.8
総額	192.2	258.5	796.7	487.9	227.5	252.2

資料：各国貿易統計

3.5.1. 一般機械

一般機械（HSコード84「原子炉、ボイラー及び機械類並びにこれらの部分品」）は、数あるHS分類の中でも非常に多い製品分類に分かれている。工作機械、研削盤をはじめ、エンジン、ポンプ、冷蔵・冷凍庫、洗濯・洗浄機、半導体ウエハーの製造装置等多様である。

EUにおける一般機械分野での最大の輸出国はドイツである。部品、資本財共に1,000億ドルを超える輸出規模を誇り、EU及びEU域外に輸出している（表14a）。ドイツが輸出する部品は、エンジン部品、自動車部品、ターボジェット等の部品、ポンプ、ギアボックス、エンジン部品など多岐にわたっている（表13b）。資本財では、コンピュータ周辺機器、印刷機器、遠心分離器等である（表13c）。

一方、英仏の一般機械貿易額は、輸出入共に同じような金額である。ただし、英国はEU域外貿易が域内を上回っているのに対して、フランスは域内志向が強い。

部品貿易で目立つのは、ドイツがほとんどの業種で輸出額NO1である中で、ターボジェット等部品輸出では、英国の後塵を拝していることである。この分野では、英国の輸出がドイツの輸出を圧倒しており、輸出先もEU域内よりはEU域外向け輸出のほうが大きい。

表 13 英国・ドイツ・フランスの一般機械貿易（2017年）

a) 財別、域内・域内別

（単位：10億ドル）

年	分類名	英国				ドイツ				フランス			
		域内		域外		域内		域外		域内		域外	
		輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入	輸出	輸入
2017	総額	26.9	38.4	41.1	44.2	130.0	93.4	119.2	55.5	32.5	60.2	28.4	22.8
	部品	14.9	16.6	29.3	28.2	56.5	46.4	50.3	26.0	18.0	29.9	18.0	14.9
	資本財	11.5	18.5	11.9	14.6	69.5	41.2	66.2	30.0	13.5	28.0	10.4	7.0

b) 部品輸出

(単位：100 万ドル)

HS4	4桁品目名	EU域内			EU域外		
		英国	ドイツ	フランス	英国	ドイツ	フランス
8407	ピストン式火花点火内燃機関 (往復動機関及びロータリーエンジン)	789	2,097	688	984	2,748	314
8408	ピストン式圧縮点火内燃機関 (ディーゼル)	960	2,211	2,345	1,203	2,766	609
8409	第84.07項又は第84.08項のエンジン用部品	895	8,543	1,581	858	5,073	624
8411	ターボジェット、ターボプロペラその他のガスタービン	6,488	2,863	3,786	18,710	4,803	8,546
8413	液体ポンプ及び液体エレベーター	148	1,248	226	404	1,053	295
8421	遠心分離機並びに液体又は気体のろ過機及び清浄機	207	1,465	350	240	1,775	329
8431	第84.25項から第84.30項までの機械用部品	393	2,475	818	1,028	2,113	1,160
8443	印刷機械	840	4,277	325	281	1,068	213
8473	コンピュータ部品	935	2,968	662	515	899	330
8481	コック等	836	6,516	1,223	2,113	6,212	1,385
8482	玉軸受及びころ軸受	380	2,632	1,238	155	2,647	527
8483	ギヤボックスその他の変速機等	444	6,223	1,240	585	5,589	635
小計		13,315	43,519	14,481	27,077	36,747	14,967
総計		14,875	56,534	18,035	29,341	50,300	18,044

c) 資本財輸出

(単位：100 万ドル)

HS4	4桁品目名	EU域内			EU域外		
		英国	ドイツ	フランス	英国	ドイツ	フランス
8408	ピストン式圧縮点火内燃機関 (ディーゼル)	328	743	657	1,424	873	136
8413	液体ポンプ及び液体エレベーター	581	4,254	1,290	825	4,087	677
8414	気体ポンプ、真空ポンプ、気体圧縮機等	514	3,730	951	348	3,976	709
8418	冷蔵庫	73	576	889	75	471	413
8419	調理機械	258	1,995	485	388	3,013	437
8421	遠心分離機並びに液体又は気体のろ過機及び清浄機	1,419	4,649	1,096	1,012	4,452	766
8422	血洗機、清浄用又は乾燥用の機械等	116	1,815	189	168	3,308	328
8427	フォークリフトトラック等	671	2,512	799	367	933	313
8428	昇降機、エスカレーター、コンベヤー及びロープウエー等	349	1,953	609	364	2,738	511
8429	ブルドーザー等	1,105	2,054	854	980	1,225	611
8443	印刷機械	1,098	6,677	645	603	2,984	519
8471	コンピュータ及び周辺機器	2,290	12,326	1,152	1,569	2,578	1,111
8474	選別機、ふるい分け機、分離機、洗浄機、破砕機、粉碎機等	229	422	53	532	992	154
8477	ゴム・プラスチック加工機	44	1,560	111	97	3,137	272
8479	機械類 (固有の機能を有するもの)	364	5,242	497	868	7,743	607
小計		8,018	41,782	7,378	7,023	33,576	6,041
総計		11,492	69,463	13,480	11,894	66,150	10,397

資料：各国貿易統計

表14は英独仏の「ターボジェット、ターボプロペラ他のガスタービン等」貿易相手先上位5か国 (2017年) である。輸出入ともに、英独仏の上位貿易パートナーは、英独仏となっている。航空機産業は、生産のすみ分けが進んでいる分野である。

例えば、欧州のエアバス生産体制は、相互の機体部品生産分担は概ね固定化している。主翼は、英国、機首と胴体中央部はフランス、胴体前後部はド

イツ、その他をスペインが担当している。Airbus のクロスボーダーバリューチェーンからは、母体国相互間の無用な競合やノウハウの散逸を防ぎつつ、生産分担をしている姿が見えてくる^{注1}。

表 14 英国・ドイツ・フランスの部品貿易
(ターボジェット、ターボプロペラ他のガスタービン) 上位 5 か国 2017 年

a) 英国

(単位：100 万ドル)

順位	輸出		輸入	
	域内	域外	域内	域外
1	フランス 4,269	米国 3,998	ドイツ 918	米国 13,145
2	ドイツ 1,364	シンガポール 2,420	フランス 839	日本 1,002
3	オランダ 253	香港 1,588	オランダ 700	カナダ 367
4	スペイン 223	日本 880	イタリア 261	シンガポール 349
5	イタリア 118	インド 748	スペイン 138	インド 196
	小計 6,227	小計 9,634	小計 2,855	小計 15,059
	域内計 6,488	域外計 18,710	域内計 3,153	域外計 17,437

b) ドイツ

(単位：100 万ドル)

順位	輸出		輸入	
	域内	域外	域内	域外
1	英国 759	米国 1,862	フランス 609	米国 5,304
2	フランス 688	カナダ 429	英国 466	カナダ 435
3	スペイン 435	中国 242	オランダ 397	日本 212
4	ポーランド 354	ロシア 125	ポーランド 330	中国 125
5	イタリア 121	トルコ 112	イタリア 209	ロシア 47
	小計 2,357	小計 2,770	小計 2,010	小計 6,123
	域内計 2,863	域外計 4,803	域内計 2,526	域外計 6,621

c) フランス

(単位：100 万ドル)

順位	輸出		輸入	
	域内	域外	域内	域外
1	ドイツ 1,727	米国 4,099	英国 8,116	米国 7,532
2	英国 711	中国 1,354	ドイツ 1,028	カナダ 463
3	ベルギー 453	英国 711	ベルギー 294	中国 381
4	スペイン 156	メキシコ 428	イタリア 202	トルコ 151
5	オランダ 142	インド 414	オランダ 105	シンガポール 126
	小計 3,189	小計 7,007	小計 9,746	小計 8,653
	域内計 3,786	域外計 8,546	域内計 9,994	域外計 9,213

資料：各国貿易統計

3.5.2. 自動車貿易の相互取引

英独仏の自動車貿易は、英国が、2017年に乗用車が輸出で418億ドル、輸入は433億ドル。フランスの乗用車貿易は、輸出入ともに英国より少ない。輸出は219億ドル、輸入は346億ドルである。ドイツの乗用車は、輸出が1,617億ドル、輸入が578億ドルと輸出規模は英国の約4倍、フランスの約8倍である（表15）。

EU域内・域外別にみると、輸出では、2017年に英国とドイツともにEU域外向け輸出が域内を上回り、EU域外志向を強めているのに対して、フランスは域内向けが圧倒的に大きい。輸入では、英独仏ともにEU域内輸入が域外を圧倒している。

部品貿易では、英国が輸出82億ドル、輸入が66億ドル、フランスは同じく167億ドル、160億ドル、ドイツは、同じく686億ドル、462億ドルと、ドイツの貿易額が英仏を合計した貿易額を上回っている。2000年時点では、ドイツと英仏の格差はここまで広がっていなかった。ドイツ自動車メーカーの海外事業展開の違いが、部品貿易（特にEU域外）に反映されているものと見込まれる。

表 15 英国・ドイツ・フランスの乗用車、自動車部品貿易（2017年）

財別、域内・域内別

（単位：10億ドル）

年	分類名	英国				ドイツ				フランス			
		輸出		輸入		輸出		輸入		輸出		輸入	
		域内	域外	域内	域外	域内	域外	域内	域外	域内	域外	域内	域外
2000	乗用車	9.6	4.5	18.3	2.9	35.1	26.3	17.8	5.0	16.4	2.7	15.3	1.2
	自動車部品	6.5	1.9	7.8	2.0	12.3	5.8	11.9	1.7	10.4	2.4	7.1	0.6
2010	乗用車	12.0	14.2	28.3	2.4	67.2	62.7	27.5	8.3	17.5	3.6	28.5	2.9
	自動車部品	5.4	2.0	11.2	2.8	27.6	19.9	29.2	4.1	12.6	5.6	11.0	1.8
2017	乗用車	17.0	24.8	38.4	4.9	79.7	82.0	42.9	14.9	18.7	3.6	30.3	4.3
	自動車部品	5.3	3.0	13.1	3.6	37.7	30.9	39.9	6.3	12.7	4.0	13.2	2.8

資料：各国貿易統計

英独仏の乗用車輸出先をみると、EU域内輸出においては、英国の最大の輸出先はドイツ、フランスは第6位、ドイツは英国、フランスが第2位、フラ

ンスはドイツ、英国は第5位と双方向で取引は行われている。EUにおける産業内分業の典型事例といえよう。

また、EU域外輸出では、英国とドイツが米国、次に中国と共通している。英国はドイツに次ぐEU域外市場向けの輸出国である。フランスのEU域外向け輸出は、英国と比べても金額は小さく、輸出先もスイス、アルジェリア、トルコなどの国である。

EU域内輸入では、英国はドイツ、ベルギー、スペイン、フランス、ドイツはスペイン、チェコ、ベルギー、フランス、ハンガリー、英国、フランスはドイツ、スペイン、ベルギー、スロバニア、イタリア、英国となっている（表16）。独仏の自動車調達先としての英国の順位は低く、スペイン、中東欧が自動車調達先となっている。

なお英国自動車製造販売者協会（SMMT）は、2017年6月に、英国がEUを離脱する前提のもとに、2020年の自動車生産台数は200万台弱にまで伸びると予測した^{注2}。英国の自動車生産は、2016年には過去17年間で最高の生産台数となる182万台（うち乗用車は172万台）を記録している。EU域外市場向け輸出の拡大を見込んでいるものと思われる。

表 16 英国・ドイツ・フランスの乗用車貿易（上位 10 か国）2017 年

a) 輸出

（単位：100 万ドル）

順位	英国				ドイツ				フランス			
	域内		域外		域内		域外		域内		域外	
	相手国	金額	相手国	金額	相手国	金額	相手国	金額	相手国	金額	相手国	金額
1	ドイツ	3,363	米国	8,627	英国	21,470	米国	24,522	ドイツ	3,752	スイス	454
2	ベルギー	3,240	中国	5,428	フランス	10,856	中国	14,993	ベルギー	3,699	アルジェリア	428
3	イタリア	2,289	豪州	1,211	イタリア	9,749	日本	6,189	スペイン	2,852	トルコ	345
4	スペイン	1,850	日本	1,143	スペイン	6,241	韓国	5,445	イタリア	2,763	ノルウェー	242
5	オランダ	1,429	韓国	917	ベルギー	5,824	スイス	4,325	英国	1,279	日本	219
6	フランス	1,194	カナダ	867	オーストリア	4,241	トルコ	3,405	ポーランド	636	中国	196
7	スウェーデン	684	ロシア	699	スウェーデン	3,593	カナダ	3,177	ポルトガル	623	モロッコ	180
8	ポーランド	681	トルコ	630	オランダ	3,548	豪州	2,926	オランダ	569	米国	165
9	アイルランド	425	アラブ首長国連邦	566	ポーランド	2,036	ノルウェー	2,319	オーストリア	463	イスラエル	163
10	オーストリア	373	スイス	521	チェコ	1,739	台湾	1,730	デンマーク	344	チリ	133
	域内計	17,017	域外計	24,833	域内計	79,749	域外計	82,037	域内計	18,698	域外計	3,622

b) 輸入

(単位：100 万ドル)

順位	英国				ドイツ				フランス			
	域内		域外		域内		域外		域内		域外	
	相手国	金額	相手国	金額	相手国	金額	相手国	金額	相手国	金額	相手国	金額
1	ドイツ	19,745	韓国	1,580	スペイン	8,569	米国	6,190	ドイツ	10,487	トルコ	1,868
2	ベルギー	6,933	日本	1,557	チェコ	5,369	メキシコ	3,250	スペイン	6,859	モロッコ	1,082
3	スペイン	3,856	トルコ	762	ベルギー	5,337	南アフリカ	2,263	ベルギー	3,125	日本	622
4	フランス	1,667	南アフリカ	351	フランス	3,639	韓国	996	スロバキア	1,853	韓国	608
5	スロバキア	1,128	モロッコ	150	ハンガリー	3,152	日本	643	イタリア	1,662	スイス	52
6	チェコ	1,067	メキシコ	139	英国	2,998	トルコ	561	英国	1,467	米国	23
7	オランダ	931	インド	130	オランダ	2,799	カナダ	253	チェコ	1,321	インド	15
8	ポーランド	805	米国	60	イタリア	2,433	スイス	206	スロベニア	839	アンドラ	12
9	イタリア	758	中国	55	スロバキア	2,332	インド	195	ルーマニア	590	中国	11
10	スウェーデン	585	タイ	54	オーストリア	1,209	タイ	150	オランダ	534	タイ	9
	域内計	38,437	域外計	4,918	域内計	42,907	域外計	14,920	域内計	30,349	域外計	4,337

資料：各国貿易統計

4. 英EU離脱が英国・EUの貿易に与える影響

4.1. 混迷する英国のEU離脱交渉

テレーザ・メイ首相は2018年7月6日、英国のEU離脱（ブレグジット）後のEUとの将来関係に関する閣議を開催、英国はEUとの間で「物品に関する自由貿易圏」を確立する等4の交渉基本方針を発表した^{注3}。これを受けて、英国政府は7月12日に、EU離脱後のEUとの将来関係に関する提案の詳細を示した白書を発表し、白書を基にEUと交渉を進めるとしている^{注4}。

白書は、EUと農水産品を含む物品貿易については、通関円滑化のための取り決めを段階的に導入することで、実質的に英国とEUが統合された1つの関税地域であるかのように通関検査をなくすことを提案している。他方、サービス・投資、eコマースを含むデジタルの分野では現行水準の市場アクセスを維持しないとした。エネルギー、輸送、民事司法協力の分野では社会的な協力関係の構築を提案している。

英国産業連盟（CBI）は、白書の方向性を歓迎するとのコメントを出した。一方、欧州委員会のミシェル・バルニエ首席交渉官は精査中だとしつつ、「EUが提案しているのは、野心的な自由貿易協定（FTA）と強固な安全保障パートナーシップを含む広範囲の課題における効果的な協力。交渉を楽しみにしている」^{注5}と述べた。

農産品や工業製品の規格・基準でEUとの「共通ルール」を採用し続けるという白書の提案は、EU離脱で国家主権を英国に取り戻すことを訴えてきた英国の強硬離脱派から大きな反発を受けた。譲れない一線をメイ首相が越えたからである。白書の提案は英国が離脱後もEUルールに縛られることを意味する。しかも、離脱後は英国はEUルールの作成や変更に関与できないため、一方的な順守を迫られることになる。

他方、バルニエ首席交渉官も、農産物などの基準をEUと共通化する提案に「それで我々はEU市民を守れるか」と疑問を呈した^{注6}。英国とEUは、交渉が合意に至るとの見方を堅持しているが、頓挫した場合の準備も本格化している^{注7}。

4.2. ハードブレグジットのケース

英国のEU離脱が、英国の貿易及びEUの貿易に与える影響を考える場合、ハードブレグジットが一つの目安となる。ハードブレグジットでは、英・EU間に新たな経済協定が結ばれず、英国からEUへの輸出にはWTO原則に基づく一般的最恵国関税が課されることになる。EUの平均最恵国関税率は5.3%（2015年）、日本（4.2%）やアメリカ（3.5%）と比較して高い。英国からEU向けの主力輸出品に現在のEUの一般的最恵国関税率を当てはめた場合、鉱物性燃料類に最大8.0%、自動車に9.7%といった関税が課されることになる（表17）。EUは英国からの輸入品について、関税支払いの他に生産国の認定を確認するなど国境検査を行う法的義務を負う。一方、EUから英国への輸出品にも関税が賦課され、さらに、通関措置が復活して通関手続き等の煩雑な事務手続きが必要となる。

英国の対EU輸出は、EUの関税賦課により、EU域内品あるいはEU域外との価格競争に負ければ、EU市場を失うことになる。逆に、EUの対英国輸出も同様に、価格競争力を失えば、国内品、あるいはEU域外国からの輸入品によって代替される可能性がある。

加えて、これまでEUが世界各国との間で締結してきた自由貿易協定等が離脱後の英国には適用されなくなり、英国とこれらの国々の間の貿易につい

ても、関税率の上昇、非関税障壁の復活等が起こる可能性がある。英国は早急に、取り組む必要が出てきている^{注8}。英国は、これまで築いてきたEUのルール、通商ルールとは異なるルールで対外交渉を行うリスクを抱えることになる。

表 17 EU と英国の一般的最恵国関税率（2015 年）

(単位：%)

順位	英国からEUへの輸出			EUから英国への輸出		
	品目	平均	最大	品目	平均	最大
1	鉱物性燃料類	0.8	8.0	車両類（鉄道・軌道除く）	5.8	22.0
2	原子炉、一般機械等	1.8	9.7	原子炉、一般機械等	1.8	9.7
3	車両類（鉄道・軌道除く）	5.8	22.0	電気機器類	2.8	14.0
4	医療用品	0.0	0.0	医療用品	0.0	0.0
5	電気機器類	2.8	14.0	鉱物性燃料類	0.8	8.0
6	航空機類	3.3	7.7	プラスチック類	6.0	6.5
7	プラスチック類	6.0	6.5	光学機器類	2.2	6.7
8	光学機器類	2.2	6.7	飲料、アルコール類	3.9	32.0
9	有機化学品	4.3	6.5	有機化学品	4.3	6.5
10	化学工業品類	5.4	6.5	紙、製紙用パルプ類	0.0	0.0

注：輸出・輸入金額の上位10品目

出所：世界の潮流（2016年）

4.3. 英国の貿易に与える影響

英国のEU離脱で、大きな打撃を受けるのは英国の対EU貿易とみられている。打撃は、対EU貿易依存度（輸出・輸入に占めるEUのシェア）によって品目毎に異なる。

表18は、英国の輸出品5,388品目（HS6桁）についてそれぞれ対EU輸出依存度（英国のEU輸出/英国の総輸出）を財別業種に算出したものである。対EU貿易依存度が高い業種ほど、EU離脱によって大きな打撃を受ける。その目安として、対EU貿易依存度が50%を超える品目は、EU離脱の影響が大きい。特に80%以上の品目は深刻な影響をもたらす。一方、30%以下であれば、打撃が相対的に軽微で済む可能性もある。

表18aは、英国の輸出品目5,388のうち対EU輸出品目5,235について、対EU

輸出依存度別品目数を分類したものである。対EU輸出依存度80%以上の品目が1,587品目、50%以上80%未満が1,695品目で、全品目の62.5%を占めている。一方、対EU輸出依存度が低い品目は、10%未満が360品目、10%から30%未満が680品目と全品目の19.8%と僅か約2割程度である。英国の対EU輸出品目の8割が、離脱によって大きな影響を受けるものと見込まれる。

特に影響を大きく受ける財・業種は、加工品と消費財である。英国の対EU加工品輸出では、対EU輸出依存度50%以上の品目が63.6%を占めている。加工品では化学品の割合が多い。消費財は同じく79.8%を占めている。消費財の中でも影響を大きく受ける易いのは、食料品である。食料品の対EU輸出品609品目のうち83.5%が、対EU輸出依存度50%以上の品目である。これは食料品の対EU輸出額の140億ドルの78.5%を占めている。

他方、部品は、対EU輸出依存度は低い。対EU輸出依存度が50%以上を占める品目は154品目、全体の41.1%と過半に届いていない。EU域外に依存している品目が多い。

表18bは、輸出金額をEU域内輸出依存度別に分類したものである。2017年の英国の輸出額はEU域外が2,330億ドル、EU域内輸出額が2,120億ドルである。英国EU離脱で影響を受けるEU域内輸出額2,120億ドルのうち、EU輸出依存度が50%を超えている品目の輸出額は、1,560億ドルと73%を占めている。これは、英国の輸出額（EU域内+EU域外）の35%に相当する。英国のEU離脱で大きな打撃を受ける輸出の規模は、英国の輸出額の35%程度が一つの目安となろう。財別にみると、EU域内輸出依存度が50%を越えている消費財の対EU輸出額が占める割合は39.7%、資本財が28.3%、部品が25.5%、加工品が35.0%である。消費財と加工品と比べて部品、資本財に対するEU離脱の影響は軽減される。

英国の対EU輸入への影響は、輸入品目5,399について対EU輸入依存度別財別に品目数を分類したものである。対EU輸入依存度が50%以上である品目数は2,855品目、全体の54%を占めている。輸出同様に、加工品と消費財で高い（表18c）。

2017年の英国の輸入額はEU域外が3,130億ドル、EU域内輸入額が3,320億

ドルである（表18d）。EU域内輸入依存度が50%以上の品目の対EU輸入額は、2,610億ドル、英国の輸入額の40.4%を占めている。財別の詳細は、消費財の52.4%、資本財29.2%、部品32.9%である。

英EU離脱の英国の貿易に与える影響は、輸出では、食料品などの消費財産業が、関税・非関税面でのコスト上昇により価格競争力を失うことが見込まれる。

一方、輸出では、食料品や乗用車の消費財のEU依存度が大きい。乗用車の場合、EUの対英乗用車輸出にマイナスの影響を与える。対EU輸入依存度が高い消費財は、EUからの調達（輸入）をEU以外の国からの調達に切り替えるか、割高になったEU品を購入するか、消費者の選択に委ねられる。

部品、資本財は約3割程度の貿易額が、新規輸出先の開拓や調達先の新規開拓が必要となろう。しかし、早急に見つけることは難しく、割高な品物を使わざるを得ない。

また、英・独・仏の産業内分業の進退を考慮すると、簡単には英国とEUとの間に構築しているサプライチェーンを断ったことは難しい。現状を維持するとなると、英国とEUの競争力の低下を招くことになる。

表 18 英国の EU 域内依存度別財別貿易

a) 6桁品目数（輸出）

財・分類	EU域内						世界
	10%未満	10~30%未満	30~50%未満	50~80%未満	80%以上	計	
素材	42	38	54	87	139	360	392
加工品	172	311	415	858	602	2,358	2,426
食料	7	6	4	23	44	84	86
化学品	58	107	152	342	212	871	900
部品	32	71	117	129	25	374	377
機械類	30	63	103	96	17	309	312
資本財	65	169	181	181	50	646	673
機械類	62	164	169	156	43	594	618
消費財	43	91	149	453	664	1,400	1,413
食料	20	34	46	120	389	609	618
化学品	2	6	13	37	19	77	77
総額	360	680	913	1,695	1,587	5,235	5,388

b) 金額 (輸出)

(単位: 10 億ドル)

財・分類	EU域内依存度	EU域内					計	EU域外	世界
		10%未満	10~30%未満	30~50%未満	50~80%未満	80%以上			
素材	0	1	1	12	5	19	13	33	
加工品	0	3	11	22	19	55	62	117	
食料	0	0	1	0	1	2	1	3	
化学品	0	1	4	13	7	24	21	46	
部品	0	4	11	20	2	38	48	86	
機械類	0	4	11	19	2	36	46	82	
資本財	0	3	6	14	3	26	34	60	
機械類	0	3	6	13	2	24	33	57	
消費財	0	5	9	33	21	69	67	136	
食料	0	0	3	5	6	14	10	24	
化学品	0	0	1	14	2	17	13	29	
車両	0	4	2	8	3	17	25	42	
総額	1	16	38	99	57	212	233	444	

c) 6桁品目数 (輸入)

財・分類	EU域内依存度	EU域内					計	世界
		10%未満	10~30%未満	30~50%未満	50~80%未満	80%以上		
素材	67	56	43	59	141	366	389	
加工品	274	360	378	615	773	2,400	2,458	
食料	4	5	5	15	55	84	85	
化学品	71	85	116	265	365	902	918	
部品	21	62	86	148	58	375	377	
機械類	18	51	71	126	44	310	312	
資本財	56	116	153	207	123	655	670	
機械類	50	102	137	193	119	601	615	
消費財	170	328	256	260	384	1,398	1,413	
食料	68	77	69	102	293	609	619	
化学品	3	9	13	22	30	77	77	
総額	591	917	909	1,286	1,569	5,272	5,399	

d) 金額 (輸入)

(単位: 10 億ドル)

財・分類	EU域内依存度	EU域内					計	EU域外	世界
		10%未満	10~30%未満	30~50%未満	50~80%未満	80%以上			
素材	0	2	1	2	2	6	38	44	
加工品	1	3	13	23	47	87	90	178	
食料	0	0	0	0	2	3	1	4	
化学品	0	0	2	10	27	40	14	53	
部品	1	4	7	17	15	45	52	97	
機械類	1	4	7	15	15	42	50	92	
資本財	0	3	17	17	12	49	50	99	
機械類	0	3	16	17	11	47	48	95	
消費財	1	7	12	31	75	125	77	202	
食料	0	1	2	6	27	35	14	49	
化学品	0	0	1	12	5	18	10	28	
車両	0	0	0	1	38	39	6	45	
総額	4	18	49	90	171	332	313	645	

資料: 英国貿易統計

4.4. 英国のEU離脱がEU貿易に与える影響

英国のEU離脱は、EU加盟国も対英輸出市場の喪失等の影響を受ける。表

表 19 EU 加盟国の国地域別輸出依存度（各国の対 GDP 比）2017 年

(単位：%)

相手国 国名	EU域内	EU域外			世界計
		英国	ドイツ	フランス	
EU	22.0	2.1	4.5	2.6	34.5
英国	8.3	-	1.8	1.3	17.3
EU (英国を除く)	24.5	2.5	5.0	2.9	37.5
ドイツ	23.2	2.6	-	3.3	39.7
フランス	12.2	1.4	3.1	-	20.8
北欧* 計	18.2	2.7	3.7	1.3	31.9
デンマーク	19.5	2.6	4.9	1.2	31.7
フィンランド	16.0	1.2	3.8	0.8	27.0
スウェーデン	16.6	1.8	3.1	1.2	28.3
アイルランド	21.3	5.6	3.4	1.8	42.0
南欧 計	15.1	1.5	3.0	3.0	25.2
キプロス	5.2	0.9	0.7	0.1	15.5
ギリシャ	8.6	0.6	1.1	0.4	16.0
イタリア	14.6	1.4	3.3	2.7	26.4
マルタ	10.5	0.7	3.6	2.1	21.0
ポルトガル	21.5	1.9	3.3	3.7	29.4
スペイン	16.0	1.7	2.8	3.7	24.5
中・東欧 計	42.6	2.4	14.6	2.8	54.3
オーストリア	29.2	1.1	12.1	2.0	41.0
ブルガリア	35.4	1.3	7.3	2.2	53.7
クロアチア	19.2	0.4	3.6	0.8	30.0
チェコ	71.9	4.2	28.2	4.4	85.9
ハンガリー	69.8	3.0	23.8	3.8	86.0
ポーランド	36.1	2.9	12.4	2.5	45.3
ルーマニア	26.2	1.4	7.9	2.3	34.5
スロバキア	76.2	5.3	18.4	5.6	88.9
スロベニア	60.4	1.3	15.1	3.8	79.9
ベネルクス 計	58.8	6.8	16.9	8.9	79.6
ベルギー	63.0	7.4	14.5	13.0	87.5
ルクセンブルグ	20.7	1.0	6.3	3.5	24.6
オランダ	59.2	6.9	19.1	6.9	79.1
バルト 計	36.1	2.0	4.1	1.2	56.9
エストニア	40.4	1.3	4.1	1.1	56.6
ラトビア	30.6	2.2	3.2	0.7	45.9
リトアニア	37.3	2.2	4.7	1.6	64.1

資料：IMF; Direction of Trade Statistics (DOT)

19はEU加盟国の対英輸出依存度（対各国のGDP比、2017年）である。EU各国の対英輸出依存度（対GDP比）は、ベルギー7.0%、オランダの6.9%、アイルランドの5.6%、スロバキアの5.3%、チェコの4.2%、ハンガリー3.0%、ポーランド2.9%、ドイツ2.6%などが高い国である。北欧諸国の輸出依存度は、ドイツに次いで英国が2番目に来ている。中東欧では、ドイツ、フランスに次いで英国が3番目に来ている。EU市場に依存して輸出主導型で成長をしてきた中東諸国は、対英輸出に何らかの関税、非関税障壁が加われば、経済成長にマイナスの影響を与える。

一方、EUの対英輸入依存度（対GDP比）については、EU全体で2017年で1.3%とフランスの1.9%を下回り低い。EU各国別にみてアイルランド（7.7%）が最も高く、次いでベルギー（4.0%）、オランダ（3.6%）と続いている。EU各国の対英輸入依存度は対英輸出依存度の半分程度である。輸入面での英国EU離脱の影響は輸出と比べて小さい。

さらに、英国のEU離脱は、EUの貿易収支不均衡問題を引き起す。EU加盟国は対英貿易で貿易収支の黒字を計上している国が多くある。EU加盟国で対英貿易収支が赤字国は、アイルランド、キプロス、マルタ、クロアチア等僅か5か国である。EU加盟国にとって、英国は対独貿易赤字を補填してくれる市場である。EU28の貿易収支比率は1.1%（対EU28のGDP比）である。英国の離脱によって、EU27（英国を除く）の貿易収支比率（対EU27のGDP）は、0.4%に縮小する（表20）。ドイツのEU域内貿易黒字幅は、0.4%から0.2%に半減する。フランスや南欧では貿易収支赤字が悪化する。中東欧のEU域内貿易収支は、黒字が解消してしまう。英国の離脱で、EU域内貿易収支構造は、ドイツとベネルクスの黒字国とその他の赤字国という2極化が顕在化しよう。

英国のEU離脱は、EU貿易におけるドイツの存在感の高まることが予想できる。ドイツの輸出規模は、英国とフランスを合わせて規模に匹敵する。ドイツと英仏の均衡が、英国のEU離脱で崩れる。英国が欠けることで、ドイツに匹敵する極を失い、EU貿易におけるドイツ1極化が進行する。

表 20 EU 加盟国の EU 域内貿易収支比率（対 EU の GDP 比）

（単位：10 億ドル、%）

国 国名	相手	収支比率 (%)		
		EU域内	EU域内 (注1)	英国を除く EU域内 (注2)
EU		73	0.4	-
英国		-120	-0.7	-
EU (英国を除く)		193	1.1	0.4
ドイツ		76	0.4	0.2
フランス		-121	-0.7	-0.9
北欧* 計		-19	-0.1	-0.1
南欧 計		-23	-0.1	-0.3
イタリア		9	0.1	-0.0
中・東欧 計		28	0.2	0.0
ベネルクス 計		266	1.6	1.5
バルト 計		-13	-0.1	-0.1

注1：EU28か国のGDPの合計を100として計算。

注2：英国を除くEU27か国のGDPの合計を100として計算。

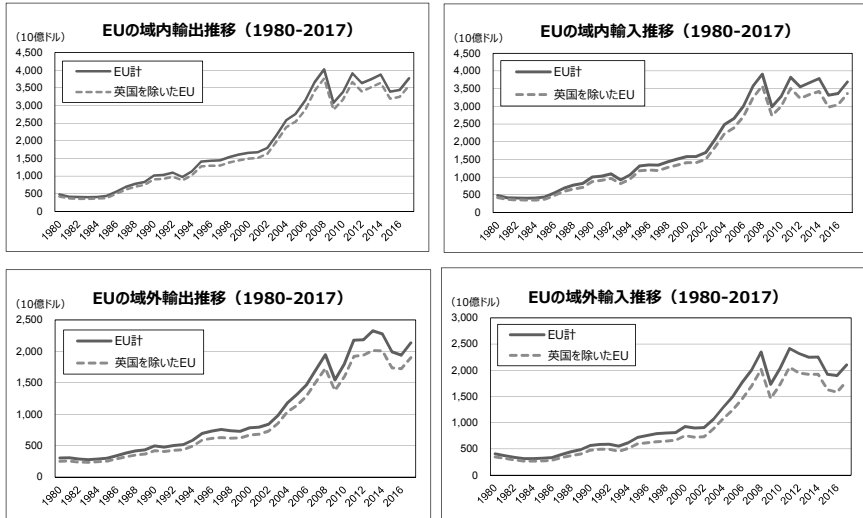
資料：IMF; Direction of Trade Statistics (DOT)

おわりに

英国のEU離脱によって、EUの貿易規模は縮小する。英国がEUを離脱した場合、EU貿易は2017年で輸出が5兆9,038億ドルから5兆4,595億ドルに。輸入は5兆8,005億ドルから5兆1,560億ドルにそれぞれ減少する（図2）。EUの貿易額は、EU（28）のGDP比で見ると、2017年に輸出で35%、英国を除くと32%と2.6ポイント減少する。

地域経済統合は、多くの国が参加するほど規模の利益が働き、すべての参加国が経済成長を高めることができる。その経済波及効果は、EU域内諸国ののみならず、EU域外諸国にも均霑する。第1節でみたように、EU貿易の世界貿易拡大の寄与度は、域外輸入面で2010年から2017年間で大きく後退している。英国のEU離脱は、世界貿易におけるEUの影響力低下を招くことになる。EUの衰退の始まりになるのであるかもしれない。

図2 EUの貿易（1980-2017）



資料：IMF; Direction of Trade Statistics (DOT)

参考文献

- ・みずほ銀行（2015）「欧州グローバルトップ企業の競争戦略」
- ・J. ベルクマンズ（2004）『EU経済統合』文眞堂
- ・内閣府（2016）「世界経済の直面するリスクと課題」

注

- 1 みずほ銀行（2015）
- 2 ジェトロ「英国自動車産業持続可能性報告書2017（2017 Automotive Sustainability Report）」2018年
- 3 「EUとの将来関係に関する交渉方針を発表」ジェトロビジネス短信 2018年7月10日
- 4 「離脱後のEUとの将来関係交渉に向け白書を発表」ジェトロビジネス短信 2018年7月13日
- 5 ジェトロビジネス短信 2018年7月13日
- 6 日経新聞 2018年7月21日
- 7 「合意なきEU離脱？」WSJ 2018年7月26日
- 8 内閣府（2016）